

衆議院議長 殿

参議院議長 殿

____年 ____月 ____日

「2021 年度介護保険改定」に向けて、介護を自己責任にしない介護保険制度とするために
国庫負担を増やし保険料、利用料の引き下げを求める請願書

新型コロナウイルス感染拡大により、医療・介護の事業所が国民のいのちを守るために充実が必要であることが明らかになりました。介護事業は、コロナ禍の中でも必要な事業を展開し、自助努力で感染対策を取り高齢者のいのちと生活を守っています。今後の社会において日本経済を回復させていくうえでも、必要な事業です。

しかし、介護保険は、利用者が増えサービスが充実すると保険料が上がるしくみになっており、高齢化が進む日本において、社会保障として介護を支えるには、今の介護保険制度では限界がきています。コロナ禍対応による事業所への財政支援も、利用者負担を求めるもので、国民の困難の解消になりません。多くの介護事業所が今、経営難となっており、これからも事業継続ができるか不安を抱えています。

このように介護保険が制度として限界にきている原因は、国が介護の予算の半分を持っていた措置制度から介護保険制度に代わる中で、その予算割合を半分に減らしたことにあります。その結果、介護保険料は毎年上がり続けており、多くの国民負担と重なり、高齢者の生活に大きな影響を及ぼしています。

介護を社会保障として使える、介護保険制度に切り替える必要があります。2021 年度からの第八期介護保険計画作成において、コロナ禍にも対応でき、これからの日本の人口構造にも対応できる持続可能な財政基盤が必要です。高齢者の介護を自己責任、家族の責任に押しつけず、社会全体で支える制度とするために下記の項目を請願します。

請願項目

- ① 介護保険の保険料・利用料を下げ、利用しやすい介護保険とすること
- ② 介護保険財政の国の負担を大幅に引き上げること

氏名	住所

取り扱い団体

中央社保協 兵庫県社保協 ()